

令和6年度 大正中央中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3年	学校	82	46	41	8.5	17.9
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

- ・調査したすべての教科の正答率が全国平均から大きく下回っている。
教科平均正答率(学校/対大阪市比/対全国比)
国語(46/0.81/0.79) 数学(41/0.80/0.78)
- ・また、平均無回答率からも、問題を最後まで取り組んでいない状況が伺える。

<国語>

- ・全国と比較して、全領域で平均正答率が下回っている。特に「読むこと」の領域においては、**-13.9P**と大きく離れている。
- ・生徒アンケートを見ても、家庭で読書を行う環境が確立されていないことがわかる。
- ・「記述式」の解答率が低く、無回答も目立つ。→**自分の考え**を書いたり、**説明**することが苦手である。

<数学>

- ・全国と比較して、全領域で平均正答率が大きく下回っている。特に「図形」の領域においては、**-15.1P**と大きく離れている。
- ・「記述式」の解答率が低く、無回答率も目立つ。→**予想**できることを**説明**したり、**比較**して**説明**することが苦手である。

<生徒質問紙より>

- ・生徒の**生活習慣が確立**されてきている。→「朝食の喫食」「決まった時間の睡眠、起床」が全国平均並みに改善されている。
- ・これまで本校の課題であった、「**自尊感情**」「**自己有用感**」も**ほぼ全国平均に改善**されている。
→大正中央Dream Projectの成果
- ・「**将来の夢や目標を持っている**」において、「**当てはまる**」と回答した生徒は、全国平均より **+9.1P**
- ・「**いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う**」と回答した生徒の割合は**100%**と、全国平均よりも高い。
→1年生時に「いじめ予防教室」、生徒会による活動の成果
- ・「**人の役に立つ人間になりたい**」において、「**当てはまる**」と回答した生徒は、**76.2%**(全国平均に対し、**+7.6P**)
- ・**1日の家庭学習時間が非常に少ない**。
1日1時間以上の学習・・・平日 **57.2%**(全国より**-7.1P**) 休日 **38.1%**(全国より**-24.9P**)
- ・**平日のゲームや動画・SNSの視聴時間が圧倒的に長い**。
2時間以上のゲーム・・・**62.0%**(全国より**+13.9P**) → 4時間以上は**29.8%**
2時間以上の動画、SNS・・・**73.8%**(全国より**+17.9P**) → 4時間以上は**34.5%**
- ・**読書をする環境が確立されていない**。
→ 持っている本が少ない。読む機会がない。(新聞を全く読まない生徒 **92.9%**)

【今後に向けて】

本校の生徒は、①**理解する力が弱く、自分で考えることが苦手** ②**分からないところあきらめてしまう(集中力が持続しない)** ③**自信がないのか、発表など自ら行えない生徒が多い** という課題がある。
そこで、これまでの調査結果を参考にして学校教育改善「アクションプラン」を策定し、取り組み内容を明確化して、教育活動を推進している。

- ・これまでの調査結果からも、本校の生徒は「**読解力**」に**大きな課題**がある。
→ 朝の学習の時間を活用した「よむYOMUワークシート」の実施
→ 読書環境の整備(新聞コーナーの設置、読書時間の確保)
- ・**家庭での学習時間が短く、スマホの利用時間が長い**。
→ 校内での放課後学習の環境は整ったが、家庭における学習環境と、学習の習慣をつけることが必要である。
→ スマホの利用については、生徒会を中心に、一定のルール作りを行っていく。
- ・これまで課題であった「**生徒の自尊感情・自己有用感**」の項目や、「**学校が楽しい**」の項目については、**一定の成果**が見られた。引き続き**本物・一流に触れ将来の夢を抱く取組(大正中央Dream Project)**で進路選択や目標設定のきっかけとして、生徒の自尊感情・自己肯定感のさらなる向上を図っていく。

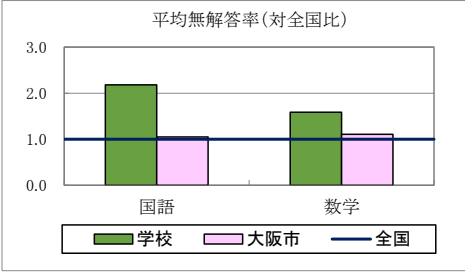
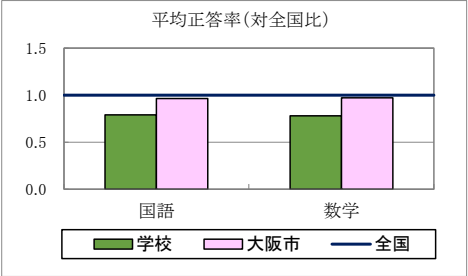
令和6年度 大正中央中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	46	41
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	8.5	17.9
大阪市	4.1	12.5
全国	3.9	11.3

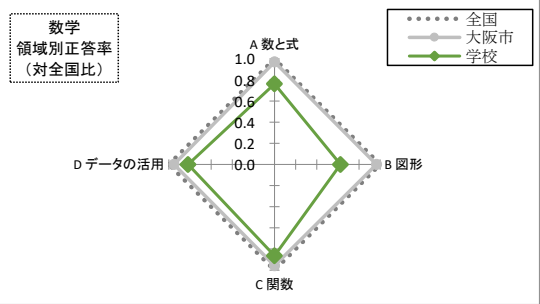
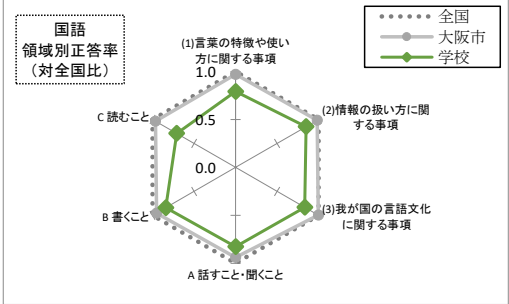
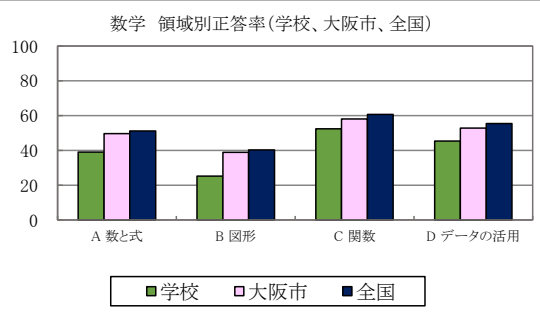
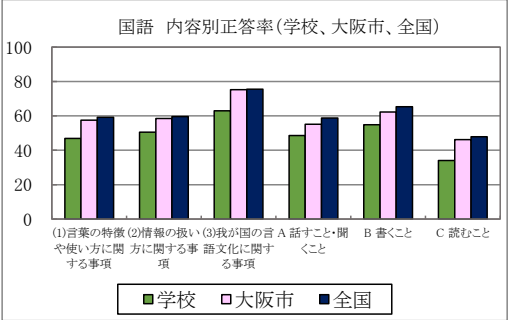


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	3	46.9	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	50.6	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	63.0	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	48.6	55.2	58.8
B 書くこと	2	54.9	62.2	65.3
C 読むこと	4	34.0	46.2	47.9

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	39.0	49.6	51.1
B 図形	3	25.2	38.9	40.3
C 関数	4	52.4	58.1	60.7
D データの活用	4	45.4	52.8	55.5



令和6年度 大正中央中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

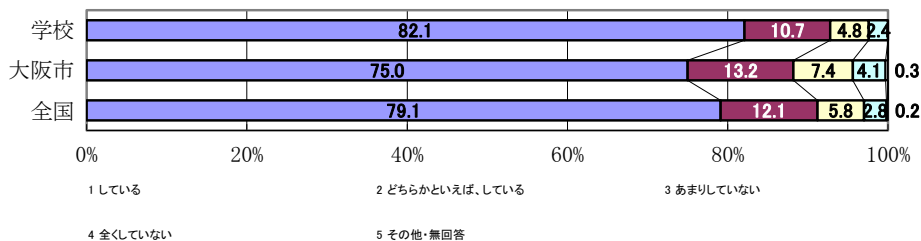
生徒質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

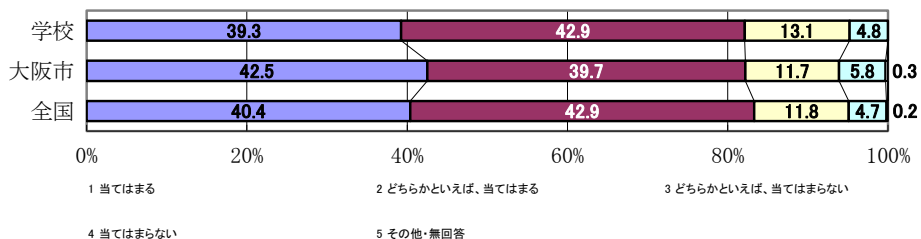
1

朝食を毎日食べていますか



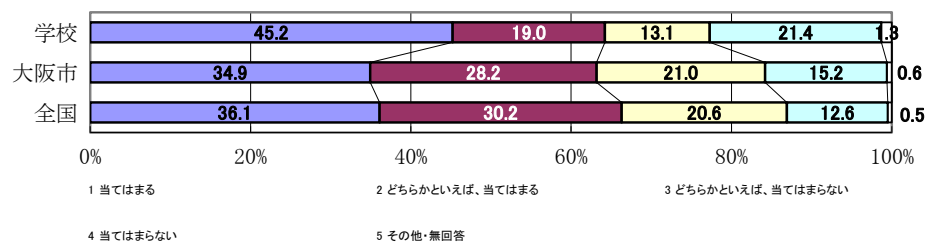
9

自分には、よいところがあると思いますか



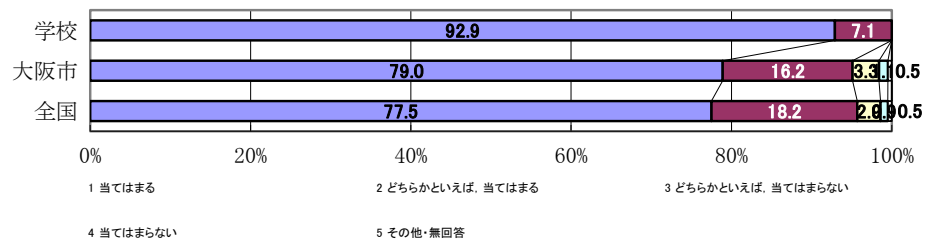
11

将来の夢や目標を持っていますか



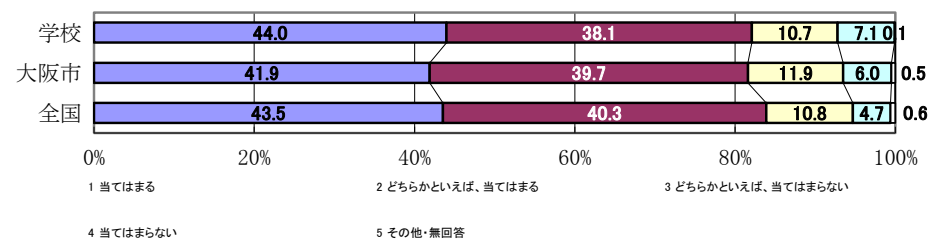
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



16

学校に行くのは楽しいと思いますか



令和6年度 大正中央中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

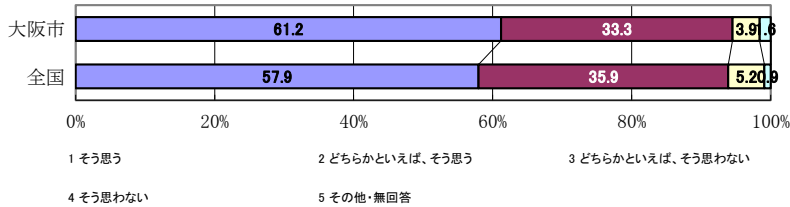
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

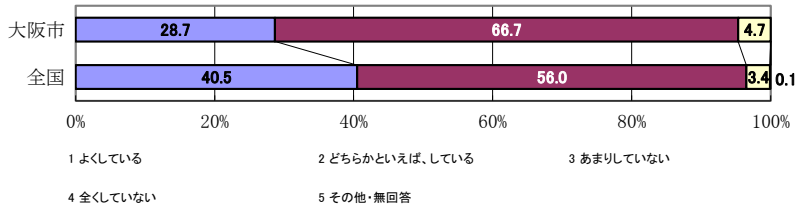
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



13

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

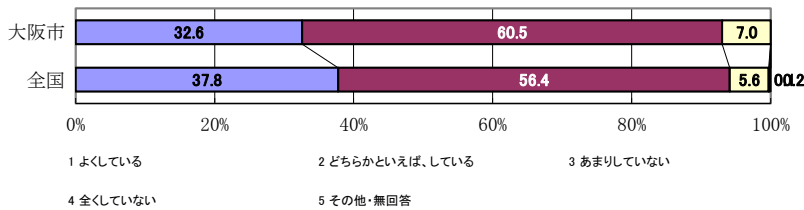
学校 「よくしている」を選択



15

言語活動について、国語科を要として、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

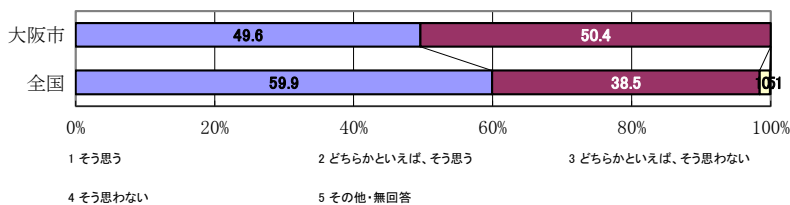
学校 「よくしている」を選択



20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



21

各生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

学校 「そう思う」を選択

